

## 平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年8月11日

上場取引所 福

上場会社名 株式会社 スーパー大栄  
 コード番号 9819 URL <http://www.superdaiei.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 中山 勝彦  
 (氏名) 阪本 博美

TEL 093-602-2770

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第1四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	6,420	△6.2	△13	—	△19	—	△29	—
23年3月期第1四半期	6,844	△4.7	△17	—	△25	—	△21	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	△4.11	—
23年3月期第1四半期	△3.13	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	10,509	3,297	31.4
23年3月期	10,530	3,332	31.6

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 3,297百万円 23年3月期 3,332百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—				
24年3月期(予想)		0.00	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,500	△1.1	50	—	30	—	30	—	4.16
通期	27,300	0.1	140	—	100	—	100	—	13.89

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期1Q	7,200,000 株	23年3月期	7,200,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

24年3月期1Q	2,474 株	23年3月期	2,474 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	7,197,526 株	23年3月期1Q	6,935,444 株
----------	-------------	----------	-------------

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7
4. 補足情報 .....	7
業績の推移 .....	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により、製造業を中心に急激に悪化しました。しかしながら、サプライチェーンの回復や生産設備の復旧で景気はもち直しつつあるものの、福島原子力発電所の事故による国家的な原子力発電の見直しで電力不足は深刻なものとなり、生産活動及び消費マインドに大きな影響を与えております。

また、米国では個人消費の低迷や財政悪化で景気は減速、中国ではインフレによる金融引き締め政策の継続、欧州ではギリシャ等の財政不安問題が懸念される等、世界の経済情勢は先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社では平成23年6月1日、鮮ど市場店舗の屋号を「フレッシュ8」と改称し、従来にも増して生鮮比率のアップとサービスの強化を図ることにしました。

しかし、牛肉の放射能汚染の問題や消費マインドの冷え込み、更には、競合店の低価格戦略の影響などで業績は過去に例を見ないほど苦戦いたしました。

また、前年度、不採算店舗を4店舗閉鎖したため、売上高は減収となりました。

これらの結果、当第1四半期累計期間の売上高は6,420百万円(前年同四半期比6.2%減)、営業損益は13百万円の営業損失(前年同四半期は17百万円の営業損失)、経常損益は19百万円の経常損失(前年同四半期は25百万円の経常損失)となり、四半期純損益は29百万円の四半期純損失(前年同四半期は21百万円の四半期純損失)となりました。

なお、事業部門別売上高は次のとおりであります。

事業部門	前第1四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)		当第1四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)		前年同四半期 増減率(%)
	売上高(百万円)	構成比(%)	売上高(百万円)	構成比(%)	
	小売業				
生鮮食品	3,778	55.2	3,577	55.7	△5.3
一般食品	2,417	35.3	2,197	34.2	△9.1
日用雑貨	196	2.9	201	3.1	2.8
その他	365	5.3	362	5.7	△0.6
計	6,757	98.7	6,338	98.7	△6.2
その他の事業	86	1.3	81	1.3	△5.8
合計	6,844	100.0	6,420	100.0	△6.2

(2) 財政状態に関する定性的情報

(資産、負債、純資産の状況に関する分析)

当第1四半期末の総資産は、前期末比20百万円減少し、10,509百万円となりました。

流動資産は、前期末比15百万円減少し、1,748百万円となりました。これは、商品が21百万円増加したものの、現金及び預金が53百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前期末比5百万円減少し、8,760百万円となりました。これは、「鮮ど市場」から「フレッシュ8」への屋号改称に伴う看板付替工事や既存店のPOSレジ入替など総額121百万円の設備投資を行ったものの、減価償却費の計上81百万円や固定資産の除却29百万円、投資その他の資産の減少16百万円により減少したものであります。

流動負債は、前期末比152百万円減少し、4,675百万円となりました。これは、賞与引当金が48百万円増加したものの、短期借入金が215百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前期末比166百万円増加し、2,536百万円となりました。これは、長期借入金が103百万円増加したことなどによります。

純資産は、前期末比34百万円減少し、3,297百万円となりました。これは、四半期純損失29百万円を計上したことなどによります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当第1四半期の業績は概ね計画どおり推移しているため、平成23年5月18日に公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

	当第1四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
1 固定資産の減価償却費の算定方法	定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。
2 経過勘定項目の算定方法	合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。
3 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法	繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前事業年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	923,195	869,674
売掛金	6,244	1,876
商品	689,251	710,676
その他	145,097	166,396
貸倒引当金	△45	△45
流動資産合計	1,763,744	1,748,577
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,461,483	3,420,647
土地	3,282,026	3,282,026
その他(純額)	674,262	682,233
有形固定資産合計	7,417,773	7,384,908
無形固定資産	95,962	139,660
投資その他の資産	1,252,753	1,236,169
固定資産合計	8,766,488	8,760,737
資産合計	10,530,232	10,509,315
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,509,619	1,496,139
短期借入金	1,905,000	1,690,000
1年内返済予定の長期借入金	635,000	651,000
未払法人税等	28,387	9,884
賞与引当金	73,000	121,000
ポイント引当金	13,709	13,237
店舗閉鎖損失引当金	33,039	1,358
その他	630,562	692,742
流動負債合計	4,828,318	4,675,361
固定負債		
長期借入金	1,196,000	1,299,000
退職給付引当金	709,865	709,432
役員退職慰労引当金	110,327	111,639
その他	353,563	416,106
固定負債合計	2,369,756	2,536,178
負債合計	7,198,075	7,211,539

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,667,108	1,667,108
資本剰余金	1,697,019	1,697,019
利益剰余金	△27,244	△56,845
自己株式	△705	△705
株主資本合計	3,336,177	3,306,576
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△4,020	△8,800
評価・換算差額等合計	△4,020	△8,800
純資産合計	3,332,157	3,297,775
負債純資産合計	10,530,232	10,509,315

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	6,844,249	6,420,666
売上原価	5,401,930	5,052,513
売上総利益	1,442,319	1,368,153
営業収入	88,811	83,286
営業総利益	1,531,130	1,451,439
販売費及び一般管理費	1,548,249	1,464,854
営業損失(△)	△17,119	△13,415
営業外収益		
受取利息	1,249	1,091
受取配当金	3,054	3,543
その他	2,937	3,366
営業外収益合計	7,240	8,001
営業外費用		
支払利息	15,695	14,007
その他	415	309
営業外費用合計	16,110	14,317
経常損失(△)	△25,989	△19,731
特別利益		
受取保険金	748	156
ポイント引当金戻入額	108	—
特別利益合計	856	156
特別損失		
固定資産除却損	4,193	19,136
投資有価証券評価損	429	347
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	2,660	—
その他	44	78
特別損失合計	7,327	19,563
税引前四半期純損失(△)	△32,460	△39,138
法人税、住民税及び事業税	5,007	4,884
法人税等調整額	△15,719	△14,421
法人税等合計	△10,712	△9,537
四半期純損失(△)	△21,748	△29,601

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

該当事項はありません。

4. 補足情報

業績の推移

(百万円未満切捨て、%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第1四半期	6,986	△3.5	10	—	△5	—	39	—
21年3月期第1四半期	7,210	—	64	—	54	—	53	—
22年3月期第1四半期	7,185	△0.4	46	△28.3	39	△27.1	62	15.9
23年3月期第1四半期	6,844	△4.7	△17	—	△25	—	△21	—
24年3月期第1四半期 (当第1四半期)	6,420	△6.2	△13	—	△19	—	△29	—
	3期連続減収		2期連続営業損失		2期連続経常損失		2期連続四半期純損失	

(注) 平成20年3月期第1四半期より四半期財務・業績の概況を開示しているため、平成20年3月期第1四半期については、売上高を除いて前年同四半期との比較数値は記載しておりません。また、平成21年3月期第1四半期より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用し、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しているため、平成21年3月期第1四半期については、前年同四半期との比較数値は記載しておりません。